

平成29年1月23日
四国電力株式会社

「平成28年度省エネ大賞」の受賞について

当社は、室戸海洋深層水株式会社、高知工科大学および一般社団法人日本エレクトロヒートセンターと共同で実施した「塩製造工場における廃熱等を活用した省エネルギーの取り組み」に関して、平成28年度省エネ大賞^{*1}の省エネ事例部門「資源エネルギー庁長官賞」を受賞しました。

このたびの受賞は、塩製造工場^{*2}での海水濃縮工程において、化石燃料を使用した蒸気釜に代わり、これまで大気に捨てていた熱を活用した電気ヒートポンプ式濃縮装置の導入と逆浸透膜の多重化などにより、エネルギー使用量を93%削減し、その優れた省エネルギー性などが高く評価されたものです。

当社といたしましては、保有する技術力やノウハウ等を活用し、エネルギー利用に関するお客さまの様々なニーズにお応えするソリューションサービスを展開し、今後もお客さまから、信頼され、選択され続ける企業を目指してまいります。

※1：省エネルギー意識の浸透や省エネルギー製品の普及促進を行うことを目的として、平成23年より、一般財団法人省エネルギーセンターが経済産業省の後援を受け、主催している。

※2：室戸海洋深層水株式会社

所在地 高知県室戸市室戸岬

設立 平成10年2月

事業内容 海洋深層水を材料とした清涼飲料水、食品添加物の製造・販売
海洋深層水を利用した自然塩、ニガリ、濃縮海水の製造・販売等

以上

(別紙) 塩製造工場における廃熱等を活用した省エネルギーの取り組み概要

塩製造工場における廃熱等を活用した省エネルギーの取り組み概要

1. 省エネルギーの取り組み内容

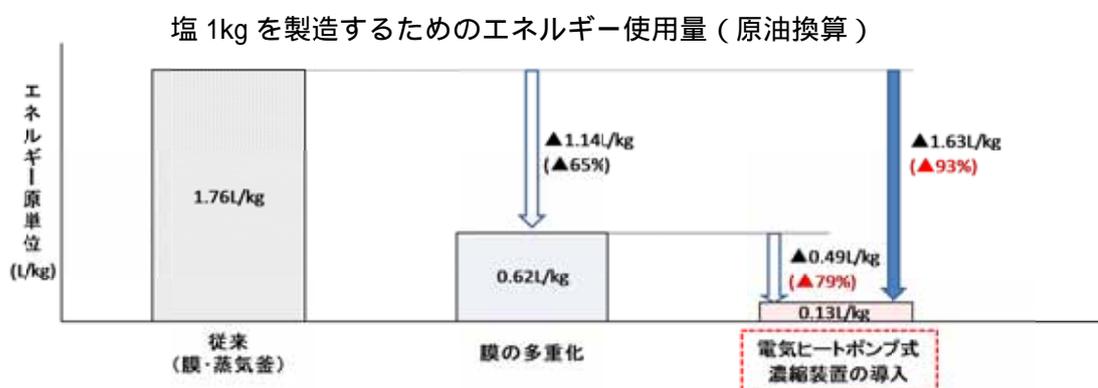
従来の化石燃料を使用した蒸気釜による海水濃縮においては、水分を蒸発させるために多量の熱エネルギーが投入されていましたが、投入された熱エネルギーは、水分の蒸発に伴い、蒸気として蒸気釜の上部から大気中へ、放出されていました。

この廃熱を再利用することにより、海水濃縮工程のエネルギー使用量を大幅に削減できることから、当社はエネルギー効率に優れる電気ヒートポンプ式濃縮装置の導入についてコンサルティング活動を進め、平成27年9月に蒸気釜から電気ヒートポンプ式濃縮装置への転換を行いました。

○各者の主な役割分担

- ・ 室戸海洋深層水(株) : 省エネにあたっての課題抽出
- ・ 四国電力(株) : ヒートポンプ式濃縮装置導入に係るコンサルティング
- ・ 高知工科大学 : 逆浸透膜の多重化などに係る研究開発
- ・ (一社)日本エレクトロヒートセンター : エネルギー量の計測評価、省エネ技術の普及拡大

2. 濃縮工程における省エネルギーの達成状況



塩製造工程における電気ヒートポンプ式濃縮装置の導入

